

< 見積根拠資料の作成方法 > (別紙工事費内訳書と別紙工種別内訳書に係る記載例を併せてご参照下さい)

閲覧いただく仕様書は、「工事区分」「工種」「種別」の別に記載されています。

「予定価格等の事前公表」を行う入札には、「見積根拠資料」を提出することが必要です。

「見積根拠資料」の作成においては、「工事区分」をレベル1、「工種」をレベル2、「種別」をレベル3と
いった具合にそれぞれ区分しています。

見積根拠資料提出を要する工事

- ・設計金額3億円未満の工事:「工事区分」、「工種」(レベル1からレベル2)で作成
- ・設計金額3億円以上の工事:上記に「種別」を加えたもの(レベル1からレベル3)で作成

「道路改良事業」を例として以下に示します。

【閲覧用仕様書の「設計内訳書」(部分)】

工事名			事業区分		
工事区分・工種・種別			工事区分		
	単位	数量	単価	金額	摘要
道路改良	式	1	閲覧用仕様書にはこの覧には記載がありません		レベル1
道路土工	式	1			レベル2
掘削工	式	1			レベル3
作業土工	式	1			レベル3
橋梁下部	式	1			レベル1
道路土工	式	1			レベル2
掘削工	式	1			レベル3
橋台工	式	1			レベル2
橋台躯体工(構造物単位)	式	1			レベル3
直接工事費	式	1			
共通仮設	式	1			レベル1
共通仮設費	式	1			レベル2
安全費	式	1			レベル3
イメージアップ(率計上)	式	1			レベル3
共通仮設費(率計上)	式	1			レベル2
純工事費	式	1			
現場管理費	式	1			
工事原価					
一般管理費等					
工事価格	式	1			
消費税相当額	式	1			
工事費	式	1			
完成図書費	式	1			

別紙工事費内訳書の「工種等」の欄には左の表の「レベル1」及び「レベル2」の工種をすべて記載してください。

別紙工事費内訳書の「工種等」欄に記載されている工事区分(レベル1)の見積金額が、その工事区分に含まれる各工種(レベル2)見積金額の合計と一致していることを確認して下さい(一致していなければ失格となります。)

別紙工事費内訳書の「入札書又は見積書記載金額」欄に記載される各工種の合計が「入札書」に記載される額と一致していることを確認して下さい(一致していなければ失格となります)。

設計金額3億円以上の工事については、「見積根拠資料」として別紙工事費内訳書と別紙工種別内訳書の両方を提出していただく必要があります(どちらかを提出しない等書類に不備があれば失格となります)。

別紙工種別内訳書については、別紙工事費内訳書に記載される「工種」ごとに作成していただく必要があります(例:別紙工事費内訳書に記載される「工種」が4工種であれば、別紙工種別内訳書は4枚作成すること)。

別紙工種別内訳書の「工種(工種名)計」欄に記載される金額が、別紙工事費内訳書の当該工種の欄に記載される額と一致していること並びに別紙工種別内訳書の「種別」欄に記載の各種別の合計が「工種(工種名)計」欄に記載の額と一致していることを確認して下さい(一致していなければ失格となります)。